

2016年10月

『新・阪大英文学会叢書（若手篇）』第1号 原稿募集について
『カット！——英米文学に切り込む』（案）

編集 森本 道孝

編集 垣口 由香

寒暖差が激しく過ごしにくい日々が続きますが、皆様ご健勝にお過ごしのことと存じます。

さて、以下の要領で『新・阪大英文学会叢書（若手篇）』第1号の原稿募集を行いたいと存じますので、お知らせいたします。今回の企画は、大学院生をはじめとする若手研究者が活躍できる場を作るための論集です。多くの方のご参加を、どうかよろしくお願い申し上げます。

2016年度の阪大英文学会（2016年10月22日）に執筆申し込みの募集を開始します。2017年5月末日にこの募集を締め切り、論文原稿を2017年12月末日までに提出して頂きます。そして、刊行を2018年に行うことを目指します。

第1号は、若手研究者が従来の英米文学研究に切り込み、風穴を開けることを期待して、タイトルは『カット！——英米文学に切り込む』（案）とします。「カット」をテーマに、英米文学・英語文学の作家や作品を、多様な「切り口」から論じていただければと思います。

「カット」には、「切断・切除」などのネガティブな側面もありますが、「健全化・刷新・慣例や因習への切込みによる打破」などのポジティブな側面があります。また、その背景には何らかの「権力」が存在し、主体と作用の受け手の間の様々な相剋が認められる場合が多いです。このような観点からのアプローチとしては、例えば以下のようなものが考えられます。

ただし、これらはいくまで参考例であり、ここに明示されていない例を挙げての論考、さらには、「主体／作用の受け手」という構造に囚われない「カット」に纏わるその他のアプローチからの論考も歓迎いたします。

		例	主体 / 作用の受け手の例
①	文学	ナラティブの中断 切り込みによる打破	作家 / 作品 新世代 / 伝統・慣例・因習
②	文化	編集・カット・翻案のための改変	監督・作家 / 映画・演劇・作品
③	政治	検閲・削除	社会 / 新聞・メディア
④	環境	森林伐採・刈り込み・未開の地の開拓	文明 / 自然
⑤	社会	関係の断絶	社会 / 人間
⑥	経済	首切り・リストラ・解雇・給与カット	雇用主 / 被雇用者
⑦	医療	手術・患部切除	医者 / 患者
⑧	その他	パスのカットイン、近道（ショートカット）、分割（ケーキカット）など	

